

基本施策3 母子保健医療対策の充実

1 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

(1) 妊産婦への支援（計画ページ：53～55）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R6実績値	R6目標値	
妊娠届出及び母子健康手帳の交付	妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録しておくため、母子健康手帳を妊娠届出者等に交付します。	妊娠早期（11週以内）の妊娠届出率	93.4% (H30実績)	95.2%	95.0%	こども家庭センター
マタニティマークの普及啓発	①妊産婦にやさしい環境づくりを推進するため、マタニティマークを交付します。	マタニティマークの利用率	マタニティマークを妊娠中に使用したことがある母親の割合 68.5% (H30実績)	82.0%	70.0% 健やか親子21 (第2次) R6年度目標値	こども家庭センター
	②マタニティマークを妊娠中に使用したことがある母親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。					
妊娠届出時健康相談	妊娠届出者全員に面接とアンケートを実施し、安心して妊娠・出産ができるようサポートします。	妊娠届出時面接及びアンケートの実施率	100% (H30実績)	100%	100%	こども家庭センター
妊産婦健康診査	妊産婦の健康診査の一層の徹底を図るため、医療機関に委託して実施します。	①妊婦健康診査受診票初回利用率 ②産婦健康診査受診票利用率	①91.2% ②2週間目：28.3% 1か月目：91.6% (H30実績)	①96.7% ②2週間目：75.2% ③1か月目：81.7%	①93.0% ②2週間目：90.0% 1か月目：100%	こども家庭センター
妊産婦歯科健康診査	妊産婦の口腔衛生の向上のため、市内の歯科医院において歯科健診及び衛生指導を実施します。	妊産婦歯科健診受診率	受診率 妊婦：38.6% (H30実績) 産婦：R1から実施	妊産婦歯科健診受診率 60.5%	妊婦：60.0% 産婦：—	こども家庭センター
妊婦訪問	妊婦のいる家庭を訪問し、相談や支援を実施します。	要支援妊婦に対する訪問率	100% (H30実績)	100%	100%	こども家庭センター
両親（母親）教室	妊婦や夫、その家族を対象に妊娠・出産・育児について学んだり、友達作りの場を提供したりします。また親としての自覚を促すための先輩パパママによる体験談や乳児とのふれあい等の体験学習を実施します。	両親教室初妊婦参加率	32.9% (H30実績)	20.0%	40.0%	こども家庭センター
妊娠中の喫煙防止対策	①喫煙が胎児の発育に影響を及ぼすことについて、正しい知識を普及するとともに、周囲の人の禁煙・分煙への配慮について啓発を行います。	妊娠中の妊婦の喫煙率	2.7% (H30実績)	1.5%	0% 健やか親子21 (第2次) R6年度目標値	こども家庭センター
	②妊娠中に喫煙していた母親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。					

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6実績値	R 6目標値	
妊娠中の飲酒防止対策	①飲酒が胎児の発育に影響を及ぼすことについて、正しい知識の普及啓発を行います。	妊娠中の妊婦の飲酒率	0.7% (H30 実績)	0.6%	0% 健やか親子 21 (第 2 次)	こども家庭センター
	②妊娠中に飲酒していた母親の割合を健やか親子 21 (第 2 次) アンケートを実施して把握します。					
母性管理指導事項連絡カードの普及啓発	妊娠中又は出産後の女性労働者の職場における健康管理について、医師等から指導事項を伝達するためのカードの普及啓発を行います。	母性管理指導事項連絡カードの普及啓発	実施	100%	就労妊婦への啓発 100%	こども家庭センター
就労妊婦への支援	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合を健やか親子 21 (第 2 次) アンケートにて把握します。	配慮されたと思う就労妊婦の割合	89.5% (H30 実績)	91.1%	95.0% 健やか親子 21 (第 2 次)	こども家庭センター
妊産婦死亡統計	妊産婦 10 万人中の死亡数(妊産婦の定義:妊娠中および妊娠終了後満 42 日未満)	妊産婦死亡率	0 人 (H29 栃木県保健統計年報)	0 人 (R4 栃木県保健統計年報のデータが最新)	2.8 人 健やか親子 21 (第 2 次)	こども家庭センター
産後ケア事業	産後に家族等から家事や育児など援助が十分受けられず、心身の不調や育児不安等により、特に支援が必要な母子に対し産後の生活を支援します。	産後ケア事業利用者数	【宿泊型】 利用実人数10人 利用延人数32人 【通所型】 利用実人数1人 利用延人数6人 (H30 実績)	【宿泊型】 利用実人数70人 利用延人数166人 【通所型】 利用実人数38人 利用延人数103人 【居宅訪問型】 利用実人数124人 利用延人数281人	増加	こども家庭センター
子育て世代包括支援センター（すこやか子育て相談室）における相談支援	妊娠期から子育て期にわたるまでの育児に関する様々な悩み等に対して、保健師や助産師、子育て支援コーディネーターが、電話や面接、訪問により相談支援を行います。	子育て世代包括支援センター（すこやか子育て相談室）における個別相談件数	面接相談 461 件 電話相談 644 件 訪問相談 366 件 (H30 実績)	面接相談 5,816 件 電話相談 2,673 件 訪問相談 1,760 件 (令和 3 年度から係統合のため子育て世代包括支援センター係及びすこやか子育て相談室の相談件数)	増加	こども家庭センター

(2) 乳幼児の健康の確保及び増進（計画ページ：56～58）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
未熟児養育医療	養育のため医療機関に入院する必要がある未熟児に対し、養育に必要な医療を給付します。	未熟児養育医療給付	28件 (H30実績)	10件	現状維持	こども家庭センター
低出生体重児の届出	母子保健法(第18条)に基づき、出生時の体重が2,500g未満の場合の届出です。	全出生児のうち、低出生体重児の割合	11.3% (H29栃木県保健統計年報)	10.8% (R5栃木県保健統計年報のデータが最新)	減少 健やか親子21 (第2次)	こども家庭センター
未熟児訪問指導	低出生体重児や未熟児のいる家庭を訪問し、子どもの健やかな成長・発達の支援及び安心して子育てができるよう必要な助言を行います。	未熟児訪問指導の実施	延件数12件 (H30実績)	延件数87件	現状維持	こども家庭センター
お誕生連絡票受付後の相談対応	出生届出の際にお誕生連絡票を受付し、母子の実情を把握し、必要な相談等の支援を行います。	お誕生連絡票提出後要支援カンファレンス実施数	263人 (H30実績)	318人	要支援者全数実施	こども家庭センター
新生児・産婦訪問事業	①新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言するために、助産師・保健師が訪問指導を実施します。	新生児・産婦訪問事業の実施	延件数223件 (H30実績)	延件数42件	希望者全数実施	こども家庭センター
	②産後、退院してから1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けることができたと感じる母親の割合を健やか親子21(第2次)アンケートを実施して把握します。	産後、退院してから1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けることができたと感じる母親の割合	81.1% (H30 実績)	87.9%	85.0% 健やか親子21 (第2次)	こども家庭センター
生後2週間目全戸電話相談	出産を終えて退院後の不安を抱きやすい時期に、保健師又は助産師が電話相談を実施します。	生後2週間目全戸電話相談の実施率	99.1% (H30実績)	99.2%	100%	こども家庭センター

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
乳児の栄養方法	生後1か月時の栄養方法(母乳・人工乳・混合乳)の割合を健やか親子21(第2次)アンケートを実施して把握します。	生後1か月の栄養方法の割合	母乳27.6% 人工乳8.8% 混合乳63.5% (H30実績)	母乳16.7% 人工乳18.1% 混合乳65.2%	現状維持	こども家庭センター
乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん訪問)	保健師、助産師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児の不安や悩みの相談、子育て支援の情報提供を行います。	乳児家庭全戸訪問事業実施率	98.3% (H30実績)	98.2%	100%	こども家庭センター
新生児聴覚検査	新生児の聴覚障がいを早期に発見し、適切な療育を行うことにより、言語発達等への影響を最小限に抑えます。	新生児聴覚検査受診率	99.8% (H30実績)	99.5%	100%	こども家庭センター
乳児先天性股関節脱臼検診	1歳未満の子どもを対象に、指定医療機関において実施します。	乳児先天性股関節脱臼検診受診率	96.8% (H30年実績)	95.0	100%	こども家庭センター
乳幼児健康診査	乳幼児を対象に、身体計測・医師による診察、子育て相談を実施します。	乳幼児健康診査受診率	4か月児：98.8% 9か月児：98.4% 1歳6か月児：98.9% 3歳児：98.9% (H30実績)	4か月児：99.5% 9か月児：99.6% 1歳6か月児：98.8% 3歳児：99.5%	100%	こども家庭センター
歯科健診 1歳6か月児 2歳児 3歳児	子どもの健やかな成長を支えるため、歯科健診・むし歯予防活動を行います。	3歳児でむし歯のない児の割合	87.0% (H30実績)	91.0%	90.0%	こども家庭センター
むし歯予防対策	保護者が毎日仕上げ磨きをしている家庭の割合を健やか親子21(第2次)アンケートを実施して把握します。	1歳6か月で仕上げ磨きをしている家庭の割合	73.5% (H30実績)	75.3%	80.0%	こども家庭センター
5歳児発達相談	5歳になる子どもを対象に3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい・構音障がい・肥満等について相談を実施します。	5歳児発達相談参加率	99.2% (H30実績)	98.4%	100%	こども家庭センター

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
子育て相談・教室	家庭で子育てをしている保護者の孤立化予防や育児不安の解消を図るため、保護者の居場所や親子のふれあい交流・親同士の情報交換の場を提供します。また、子どもの健やかな発育・発達支援を行うため、保健師や栄養士等による相談を行います。	相談・教室の参加者数	13,950人 (H30実績)	10,249人	現状維持	こども家庭センター
食育の推進	乳幼児期からの健全な食習慣や食に関する体験活動、適切な知識の普及に取り組み、子どもの成長に合わせた切れ目のない食育を推進します。	4か月児健康診査における離乳食の講話、試食の実施	990組 (H30実績)	648組	100%	こども家庭センター
予防接種の推進	①適切な時期に必要な予防接種が受けられるよう、啓発と未接種者の勧奨を行い、接種率の向上に努めます。 ②1歳6か月までに四種混合、麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	1歳6か月児健診時の予防接種率 ①四種混合（初回3回） ②麻しん・風しんⅠ期	①95.8% ②89.9% (H30実績)	①99.3% ②91.1%	①100% ②100%	こども家庭センター
保護者の喫煙防止対策	①喫煙が乳幼児の発育に影響が及ぶことについて、正しい知識を普及するとともに、周囲の人の禁煙・分煙への配慮について啓発を行います。 ②喫煙している親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	親の喫煙率	4か月児 母 4.6% 父39.5% 1歳6か月児 母 5.8% 父40.9% 3歳児 母 9.3% 父39.9% (H30実績)	4か月児 母 5.7% 父 33.3% 1歳6か月児 母 8.3% 父 32.1% 3歳児 母 8.8% 父 31.6%	母4.0% 父20.0% 健やか親子21（第2次）	こども家庭センター

(3) 小児医療の充実（計画ページ：59）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
初期救急・二次救急の充実強化	通常では医療機関にかかりにくい、休日及び夜間の時間帯に、急な病気や怪我でも安心して受けられる救急医療体制を継続的に確保します。	初期救急及び小児二次救急患者数	・ 栃木地区急患センター 小児患者：2,747人 ・ 小児二次救急医療（獨協医科大学病院） 小児患者：2,209人（H30実績）	・ 栃木地区急患センター 小児患者：1,149人 ・ 小児二次救急医療（獨協医科大学病院） 小児患者：1,392人	医療体制維持	健康増進課
小児救急電話の普及	小児救急電話相談（#8000）を知っている親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	小児救急電話相談を知っている親の割合	4か月児：77.7%（H30実績）	93.8%	90.0% 健やか親子21（第2次）	こども家庭センター
かかりつけ医の普及定着	①子どものかかりつけ医を持つ親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	子どものかかりつけ医を持つ親の割合	3歳児：92.8%（H30実績）	89.7%	95.0% 健やか親子21（第2次）	こども家庭センター
	②子どものかかりつけ歯科医を持つ親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	子どものかかりつけ歯科医を持つ親の割合	3歳児：36.5%（H30 実績）	60.7%	50.0% 健やか親子21（第2次）	こども家庭センター

(4) 育てにくさを感じる親に寄り添う支援（計画ページ：60・61）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R6実績値	R6目標値	
乳幼児健康診査アンケート	①ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	①ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合	対象：母親 4か月児：88.0% 1歳6か月児：78.9% 3歳児：75.7% （H30実績）	対象：母親 4か月児：90.4% 1歳6か月児：80.4% 3歳児：72.7%	4か月児：83.0% 1歳6か月児：71.5% 3歳児：64.0% 健やか親子21（第2次）	こども家庭センター
	②子どもに対して育てにくさを感じている親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	②子どもに対して育てにくさを感じている親の割合	4か月児：8.9% 1歳6か月児：17.3% 3歳児：30.4% （H30実績）	4か月児：7.4% 1歳6か月児：15.9% 3歳児：25.0%	減少	
	③育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、何らかの解決方法を知っている親の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、何らかの解決方法を知っている親の割合	4か月児：85.1% 1歳6か月児：80.2% 3歳児：88.3% （H30実績）	4か月児：79.2% 1歳6か月児：87.5% 3歳児：84.8%	95.0% 健やか親子21（第2次）	
	④保護者が正常な発達を理解しているかを健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	生後半年～1歳頃までの多くの子どもは「親の後追いをする」という知識を持っている親の割合	4か月児：90.7% （H30実績）	96.3%	95.0% 健やか親子21（第2次）	
		1歳半から2歳頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時に、指差して伝えようとする」という知識を持っている親の割合	1歳6か月児：92.6% （H30実績）	96.7%	95.0% 健やか親子21（第2次）	
		3歳から4歳頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」という知識を持っている親の割合	3歳児：80.2% （H30実績）	86.3%	95.0% 健やか親子21（第2次）	

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
1歳6か月児・3歳児健康診査における心理相談	1歳6か月児・3歳児健康診査において心理士が育児相談に応じます。	育てにくさを感じる親への心理相談の実施	実施	希望者に実施 100%	希望者 100%	こども家庭センター
にこにこ教室	児の発達や関わり方に悩みを持つ保護者に、親子あそびや個別相談を実施します。	にこにこ教室の実施	R1から実施	延112人/22回	現状維持	こども家庭センター
のびのび相談	児の健全な発達を促す支援と保護者への育児支援を目的に、心理士と保健師が個別相談を実施します。	のびのび相談の実施	3会場で20回 (H30実績)	56件/24回/1会場	20回	こども家庭センター
乳幼児発達相談	乳幼児健康診査や相談・訪問等において、成長発達の遅れが認められた児を対象に、医師による診察や専門家による発達検査を行い、育児相談や早期療育につなぐ支援を実施します。	乳幼児発達相談の実施	2会場で24回 (H30実績)	50人/16回/1会場	24回	こども家庭センター

(5) 妊娠期からの児童虐待防止策（計画ページ：62）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
妊婦訪問	妊婦のいる家庭を訪問し、相談や支援を実施します。	要支援妊婦に対する訪問率	100% (H30実績)	100%	100%	こども家庭センター
特定妊婦・要支援妊婦の支援	支援が必要な妊婦を把握し、妊娠早期からサポートします。	特定妊婦の把握数 要支援妊婦の把握数	特定妊婦数：22人 要支援妊婦数：170人	特定妊婦数：7人 要支援妊婦数：228人	把握数100%	こども家庭センター
ようこそ赤ちゃん支え愛事業	「育児チェックリスト」「産後うつ病質問票」「赤ちゃんへの気持ち質問票」の3種類の質問票を活用し、全ての母親の心身の状態を早期に把握し、必要な支援につなげます。	質問票回収率	R1から実施	98.2%	100%	こども家庭センター
乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問)	保健師、助産師等が、生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児の不安や悩みの相談、子育て支援の情報提供を行います。	乳児家庭全戸訪問事業実施率	98.3% (H30実績)	98.2%	100%	こども家庭センター
乳幼児健診未受診者対策	乳幼児健診の未受診者に対し、電話や訪問等で受診勧奨をするとともに、未受診の理由や家庭の状況を把握し、必要時支援につなげます。	乳幼児健診未受診率	4か月児：1.2% 9か月児：1.6% 1歳6か月児：1.2% 3歳児：1.1% (H30実績)	4か月児：0.5% 9か月児：0.4% 1歳6か月児：1.2% 3歳児：0.5%	4か月児：2% 9か月児：2% 1歳6か月児：3% 3歳児：5% 健やか親子21 (第2次)	こども家庭センター
妊産婦虐待予防会議	妊娠届出時や妊産婦訪問、生後2週間目全戸電話相談等、産前産後や乳児期において、保護者の支援が必要と把握されたケースについて、虐待の危険性の有無を判断し、今後の支援の方針等の検討を行います。	会議の実施回数	14回 (H30実績)	令和6年度より、養育支援会議へ移行した。	月1回以上	こども家庭センター

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
すこやか子育てサポート会議	複合的な課題を抱える家族に対して、関係機関が連携して支援していくために、情報交換及び支援方針の検討を行います。	会議の実施回数	13回 (H30実績)	令和5年度より、養育支援会議へ移行した。	月1回以上	こども家庭センター
養育支援員との連携	児童虐待の早期発見・未然防止のため、積極的に養育支援員と連携を図り家庭訪問等を実施します。	養育支援員が支援した件数 (実数)	63件 (H30実績)	47件	現状維持	こども家庭センター

2 学童期・思春期の保健対策

(1) 学童期・思春期の心身の健康づくり（計画ページ：64・65）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
生活習慣病予防教室	生活習慣病予防についての健康教室を開催し、また、学校の授業で取り組みます。	①児童・生徒における痩身傾向児の割合【16歳女子】	1.60%〈栃木県〉 (H30学校保健統計調査)	2.25%〈栃木県〉 (R5学校保健統計調査)	減少	保健給食課
		②児童・生徒における肥満傾向児の割合【10歳男女】	13.26%〈栃木県〉 (H30学校保健統計調査)	15.42%〈栃木県〉 (R5学校保健統計調査)	減少	
		③むし歯の者の割合【小学生】	49.9%〈栃木県〉 (H30学校保健統計調査)	41.00%〈栃木県〉 (R5学校保健統計調査)	減少	
薬物乱用防止教室	薬物乱用防止に関する健康教室を開催し、また、学校の授業で取り組みます。	薬物乱用防止教室の開催率	対象：小中学校44校 97.7% (H30実績)	対象：小中学校42校 97.6%	増加	保健給食課
がん教育	がんに関する健康教室を開催し、また、学校の授業で取り組みます。	がん教室の開催率	対象：小中学校44校 36.3% (H30実績)	対象：小中学校42校 40.5%	増加	保健給食課
むし歯ゼロ巡回指導	学齢期は口腔機能が発達する時期であり、発達段階に応じた歯や口の健康づくりを進めるため、歯科医・歯科衛生士による講話及び歯垢の染出しを行い、予防への意識づけを支援します。	巡回指導の実施	対象：小学1年生 (全小学校実施) 1,227人 (H30実績)	令和6年度より 「6歳児歯っぴい健診（担当課子ども家庭センター）事業へ移行	現状維持	保健給食課
結核健診	結核の早期発見・早期治療の機会を確保し、地域と連携のうえ結核健診を行います。	健診受診率	対象： ・教職員全員 1,072人 (受診率：93.0%) ・小中学生全員 11,709人 (受診率99.9%) (H30実績)	対象： ・教職員全員 1,120人 (受診率：96.1%) ・小中学生全員 10,584人 (受診率99.9%)	増加	保健給食課
腎臓検診	腎臓病を早期に発見し、適切な治療と管理を受け、できる限り充実した学校生活を送れるように、腎臓検診を行います。	検診受診率	対象：小中学生全員 小 7,727人 中 3,962人 計 11,689人 (受診率99.7%) (H30実績)	対象：小中学生全員 小 6,881人 中 3,636人 計 10,517人 (受診率99.3%)	増加	保健給食課

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6実績値	R 6目標値	
心臓検診	心疾患を早期に発見し、適切な指導や治療によって学校生活だけでなく、生涯をできる限り健康な生活を送れるように、心臓検診を行います。	検診受診率	対象：小学１・４年生 2,513 人 中学１年生 1,294 人 (受診率 100%) (H30 実績)	対象：小学１・４年生 2,221 人 中学１年生 1,189 人 (受診率 99.7%)	現状維持	保健給食課
食に関する指導	児童生徒への食に関する指導の充実を図り、豊かな心及び健康やかな体の育成を目指します。	児童生徒に対する食に関する指導の回数	対象：小中学校 44 校 7,248 回 (H30 実績)	対象：小中学校 42 校 8,544 回	現状維持	保健給食課
食物アレルギー対応	学校、保護者が一体となって、対象児童生徒はもちろん、学校給食に関わる全員が心身ともに健康で安全な学校生活を送り、生涯にわたり健康な生活を営めるようにします。	学校生活管理指導表の提出	対象：食物アレルギー対応をしている児童生徒 297 人 (提出率 100%) (H30 実績)	対象：食物アレルギー対応をしている児童生徒 155 人 (提出率 100%)	現状維持	保健給食課
こころの健康づくり対策	10 代の自殺を予防するため、うつや自殺予防に関する正しい知識の普及啓発と相談機関の周知を図ります。	自殺予防街頭キャンペーンの実施	実施 2 回 (H30 実績)	実施 2 回	現状維持	健康増進課

(2) 思春期における正しい性知識の普及(計画ページ：66)

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6実績値	R 6目標値	
思春期保健	市内小中学校へ母子保健教材の貸し出しや授業協力を行います。	①母子保健教材の貸し出し	実施 8 校 (H30 実績)	実施 9 校	希望校に実施	こども家庭センター
		②授業協力	実施 11 校 (H30 実績)	実施 11 校	希望校に実施	

3 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

(1) 子どもの成長を支える地域支援（計画ページ：67）

事業		市指標				担当課名
事業名	内容	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
乳幼児健診アンケート	①積極的に育児をしている父親割合を健やか親子 21（第 2 次）アンケートを実施して把握します。	積極的に育児をしている父親の割合	59.8% （H30 実績）	71.8%	55.0% 健やか親子 21 （第 2 次）	こども家庭センター
	②この地域で子育てをしたいと思う親の割合を健やか親子 21（第 2 次）アンケートを実施して把握します。	栃木市で子育てをしたいと思う親の割合	96.9% （H30 実績）	96.3%	95.0% 健やか親子 21 （第 2 次）	こども家庭センター
乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）	保健師、助産師等が、生後 4 か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児の不安や悩みの相談、子育て支援の情報提供を行います。	乳児家庭全戸訪問事業実施率	98.3% （H30 実績）	98.2%	100%	こども家庭センター
子育て相談・教室	保健師や栄養士等による健康相談や健康教室を開催します。親子の孤立化予防のため、親同士の情報交換の場を提供し、地域での仲間づくりを推進します。	相談・教室の参加者数	13,950 人 （H30 実績）	10,249 人	現状維持	こども家庭センター
食生活改善推進活動	食を通じた健康づくりの活動として、親子に食育を推進します。	親子への食生活に関する教室等の実施	開催回数 5 回 （H30 実績）	5 回	現状維持	こども家庭センター
ベビーバスの貸し出し	子育てしやすい環境整備のため、生後 1 か月以内の赤ちゃんがいる家庭に無料でベビーバスの貸し出しを行います。	ベビーバスの貸し出し	94件 （H30実績）	83件	現状維持 希望者全員に実施	こども家庭センター

(2) 子どもの事故防止対策（計画ページ：68）

事業		市指標				担当課名
内容	考え方	考え方	計画における現状値	R 6 実績値	R 6 目標値	
事故防止に関する冊子・パンフレットの配布	こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診時に事故防止に関する冊子やパンフレットの配布を行い、子どもの事故予防を図ります。	①こんにちは赤ちゃん訪問時の救急ガイドブックの配布。 ②乳幼児健診事故防止パンフレットの配布。	全数配布 (H30実績)	100%	100%	こども家庭センター
事故防止対策	浴室のドアに、子どもが一人で開けることができないような工夫がされている家庭の割合を健やか親子21（第2次）アンケートを実施して把握します。	1歳6か月児健康診査時に家庭で浴室のドアに、子どもが一人で開けることができないような工夫がされている家庭の割合	55.9% (H30実績)	63.7%	増加	こども家庭センター